

自敬寺 報 暁雲

No.115

発行所 自敬寺
発行人 服部隆志

〒532-0006
大阪市淀川区
西三国2-12-43

TEL:06-6391-5348
FAX:06-6391-4567

メール
jikeiji392@gol.com
ホームページ
<https://www.jikeiji.com>

QRコード
スマホ用



彼岸会のご案内

謹啓、日の出の時間が少し遅くなって秋が近づいているのが感じられる季節になりました。鈴虫が鳴き、姿は見えませんがツクツクボウシが鳴いています。コロナ四年目の秋、制限は解除されましたが、生活スタイルは様変わりしました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

九月二十日(水)

午後二時～三時半

行事・彼岸法要

・法話

◎同封の塔婆用紙を

受付にお持ちください。



彼の岸へ

此方の岸と書いて此岸

迷いと苦しみの世界

彼方の岸と書いて彼岸

平安な世界

達磨大師は「地獄はどこに在るのですか？」

との問いに「貪瞋痴の三毒」と答えられた

ということですが。貪り・瞋り・痴の三毒

は私たちが思い違いや妄想することによって

増大し暴走します。そうなると周囲もや

がて自分も苦しみます。

お釈迦様は艱難辛苦の末に悟りを開かれ

「悟りへの道は私が開拓した。君たちは私

が説く教えを生活の中で実践すれば、平安

な世界(彼岸)に到達できる。筏で渡りなさい。」と諭されました。その筏が仏の教えというわけです。お釈迦様は自灯明法灯明(自分自身をよりどころとし、法(真理・教え)を拠り所にせよ)と説かれました。



お釈迦さまが示された六つの実践徳目(ろくはらみつ)六波羅蜜を実践しようというのが彼岸の教えです。彼岸の時期は昼夜の長さが同じ頃、太陽が赤道上空を通過し、真東から太陽が昇り、真西に沈みます。中道(両極端を離れた行い)を説くお釈迦さまの教えを实践するのにちようど良い季節です。

六波羅蜜(幸せへの行程)

・布施 (親切・自分が出来る事を人にする)

・持戒 (言行一致自らを律する)

・忍辱 (忍耐不平不満言わずに我慢する)

・精進 (努力して励む)

・禅定 (反省心の静けさを失わない)

・智慧 (修養・因果の道理を信じ行動)



お盆・地藏盆の報告

今年のお盆は台風接近の予報で前半にご来山される方が多かったです。人数は昨年より若干増でした。

地藏盆は新企画のスタンブラリーやお地藏さまの前掛けに願い事を書いてもらいました。お話はパネルシアターで笠地藏を上演しました。

左記の「ザ淀川」の記事にもありますように、この夏に三体のお地藏さまが自敬寺に移ってこられました。

理由は世話をする方がいない、区画整理などです。街角でいつも人々、特に子どもを見守って下さっているお地藏さまがいつの間にか無くなっているのはさみしいですね。

ザ・淀川より転載

西三国のお地藏さんたちが自敬寺へ

「いつでもお参りに来てください」と服部住職

「三国のお地藏さんが区画整理のため、自敬寺に引越したそうです」地域の方から連絡をもらい、さっそく会いに行くことに。住職の服部隆志さんにお話をうかがいました。

「6月の初めに、自敬寺の西側にある高須地藏尊の御堂が工事のため撤去されることを知り、「村のお地藏さんやから村の寺で引き取りたい」と地域の方に相談

しました。お地藏さんが6月13日にこちらへ来られたことを貼り紙でお知らせしたところ、ご縁があり革島病院の東側にあったお地藏さんたちもこちらへ引越されることになりました」と服部住職。現在、お寺の門から入った先に建つ水子地藏尊のお足元に置かれています。



自敬寺のあった西に大正10年建立の高須(左)と革島病院のお地藏(右)



高須のお地藏さん(左から2番目)と、革島病院東のお地藏さん(左から3・4番目、ケースの中に立つだけで胸が温かくなるような気持ちに)



★西三国2・12・43



淀川区仏教会 心のふるさと紀行
日時：十一月二十九日(水)
行先：高野山金剛峯寺
淀川区仏教会の「ふるさと紀行」が開催されます。申込用紙は彼岸の時にお渡しいたします。

けんとう ぼんちようちん
献灯 盆提灯 をお子さまの名前で奉納しませんか？

お地藏さまと縁を結んで 子どもの健康と健やかな成長を願って。8月の地藏盆に提灯を飾り付けます。



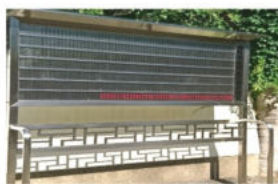
○志納金
提灯一張り 5,000円
(一名分の名前を書きます)

えいたいくよう ころしぶつとう

永代供養 合祀仏塔

(お釈迦さまに抱かれて)

- 永代位牌が本堂に祀られます
- 芳名板にお名前が刻まれます
- 過去帳に記し日課供養します
- 縁者がなくても供養されます
- 遺骨はお釈迦様の蓮台下に土に帰るよう埋葬されます
- 施餓鬼・彼岸には全員の塔婆供養をしています
- 生前依頼は現在六十四名です
- 墓を整理して合祀される方が 近年増えてきました
- 永代志納金一人三十万円です
- 維持費・管理料はいりません
- 心配事を減らして安心して お過ごしください



エッチングガラス、灯籠、過去帳位牌 募集継続中

今まで同様に本堂志納の合計額(貯金箱、写経含む)が合算されます。貯金箱、写経も引き続きお納めいただいています。写経奉納は4500枚に到達しました。有難うございます。 住職九拝



奉納写経 4562枚

各家過去帳位牌 (限定100基)

吊り灯籠 (残り12基) (底面にご芳名が記されます)

回廊階段のエッチングガラス (龍・鳳凰・マカラ) 残り少し

編集後記

○お盆の法要で、この夏に得度式を終えた長男隆行が近況を報告しました。大学で植物の研究を続け、教員として働きながら、坐禅会やお盆などの行事は今までのように加担すると申しています。

○お地藏さまが2カ所から引越されてきました。その影響だと思いますがお詣りの方が多くなりました。

○難波の大放水路を見学しました。地下に地下鉄の穴ほどの空洞を作って豪雨時の水を貯めるというものです。

○都市では雨水を地面吸水する事をせず、全面舗装して排水溝に集めています。そうすると限度があつてあふれてきます。担当の技官になぜ透水性の舗装にしないのか尋ねましたが、考えてはいるが摩耗のリスクがあるとの答えでした。

○地藏さんが無くなっていく事と地盤沈下・豪雨は直接の関係ありませんが、私たちの先祖は大地の神々に畏敬の念を忘れずにいたと思います。地藏は地の蔵のこと、見えない大地の下に思いをはせ、災害から身を守るヒントを見つけたと思います。

○町探検で自敬寺にやってきた2年生にお話ししました。土の下には夏は冷たく、冬は暖かく感じるきれいな水があるんだよ。 住職記



お彼岸 合同供養

9月23日(土・祝) 11時～12時
20日が都合が悪い方の為に実施します



ペット供養
9月23日(土)
10時～10時半



月に一度の合同供養 10月21日(土)15時～16時に開催します

月に1回程度合同法要があれば参加したいとのご要望が複数ありましたので
1月2月4月5月6月10月11月12月の**第3土曜日15時～16時**に合同法要(ご先祖
供養)を行っています。過去帳をご持参下さい。(メモでも構いません)

◎行事内容:法要・お話し (仏教の初めから 前住職著「ブツダの教えがわかる本」等)
◎申込不要 ◎持ち物:過去帳・布施(志納)

「仏画教室」

- 日時: 9月8日・10月13日(金)14時～16時
- 会場: 自敬寺・毎月第2金曜日開催 申込不要
- 会費: 2,000円・講師: 久保田聖淳先生(仏尚美術会会長)

仏画展
開催中



元気運動歩こう会 主催 護持会

- 9月5日(火)10時半出発
- 行先: 放出散策～うめきた新駅
- 集合: 御堂筋線梅田駅ホーム内
進行方向四列目 自動販売機付近
- 持物: 交通費・昼食代
- 備考: 雨天決行 時間厳守・行先変更あり

「般若心経を学ぶ」

- 日時: 9月16日・10月21日(土) 17時～18時半
- 会場: 自敬寺・会費: 1,000円
- 毎月第3土曜日開催
- 講師: 林侃道師 姫路常福寺住職



- 10月3日(火)10時半出発
- 行先: 能勢妙見山最後のケーブル
- 集合: 阪急三国駅ホーム内
進行方向前

毎月の行事 申込不要

- 坐禅の会 9月3日(日) 10月1日(日) 16時～17時半
15時より写経もできます 初心者向き
イス席もあります 姿勢と呼吸と心を整えます
- 写経の会 9月8日(金) 10月8日(日) 14時～15時
道具の用意しています イス席です



まけないぞう

阪神大震災後に始まった一本のタオル運動。東日本大震災の被災地にも広がっています。被災者手作りのまけないぞうを購入することによって被災地のコミュニティ支援生きた仕事づくりの支援に。



集めてます 未使用切手・傘

使用済み切手・書損じ葉書・ベルマーク・寝袋・男性用衣類(下着靴下は新品・スーツ不可)着物(正絹)・帯・カッパ・リュック・ライター・新品タオル・使い捨てひげそりジャンパー・セーター・ニット製品



護持会では本堂にAEDを設置しています
AEDは心臓に電気ショックを与える機器です。
音声ガイダンスに従って操作するだけで簡単かつ
安全に救命処置が行えます。



「自敬寺のホームページ」は、
<https://www.jikeiji.com/>
自敬寺で検索してみてください。
右のQRコードでも読み取れます。

